

紅葉賀(各・氏)

02 37 01 行幸は 行幸は各

02 37 01 神な月の 神な月の 各

02 37 01 十日あまりなり 十三日なりけり氏

02 37 01 たひの事なりければ ことなれば氏

02 37 02 御かたノ御方ノ各

02 37 03 み給はさらむ み給はさらむこと氏

02 37 03 おほさるれば おほされければ氏

02 37 03 御前 御まへ各

02 37 03 せさせ給ふ きこしめす氏

02 37 03 源氏中将は 源氏の中将各 源氏君(中将は

02 37 03 せいはいはをそ 青海波をそ 各せいはいは

氏

02 37 04 まひたまひける まひ給氏

02 37 04 とぶの中将 頭中将各氏

02 37 04 人にはことなるをたちならひては なことな

らす源氏君とたちならひたまひては氏

02 37 05 みやま木なり入かたのひかけさやかに 山

木はかり也いりひはなやかに氏

02 37 06 ものノ物ノね氏

02 37 07 さまなりさまに氏

02 37 07 給へるは したまへるさま氏

02 37 07 御かれうひんか 御かれうひん氏

02 37 08 きこゆきこえて氏

02 37 08 みかと みかと 各

02 37 08 のこひ給ひ ヲヨとしたまふ各 なかし給

02 37 09 みこたちも 御子たちなとも各 御こたちも

氏

02 37 09 みなナシ氏

02 37 09 糸いはてまひはて氏

02 37 09 たまへるにまちとりたるかくのにきはしき

にかほのたまへるそての氏

02 37 10 まさりてつねよりもいとまさりてけに

氏

02 37 11 みえ給みたてまつり給氏

02 37 11 春宮の女御 春宮の女御御各

02 37 11 つけても ナシ氏

02 37 11 おほして神なとかみなとん氏

02 37 12 めてつへきかたちかなめてぬへき氏

02 37 12 ゆくしとゆくしなと氏

02 37 12 みくとめけりきけり氏

02 37 13 おほけなきうたておほけなき氏

02 37 13 ましてまことに氏

02 37 14 おほすにおほすにも氏

02 37 14 なむそ氏

02 37 14 なりけるなりけり各氏

02 37 14 しかくは こと氏

02 38 01 事みなつきぬなみなことつきぬるを各しく

ものなかりつる氏

02 38 01 きこえ給へは きこえさせ給に氏

02 38 01 あいなうあひなく氏

02 38 02 はかりナシ氏

02 38 03 みえつれありつれ氏

02 38 03 なむこそなを氏

02 38 03 ことなることなれ氏

02 38 04 まひのをのこともまい(ひ)のしのおのこ

とも各人のことなれ氏

02 38 04 こしういみしう氏

02 38 04 なまめいたるなまめきたる氏

02 38 04 すちをえなむけしきをなん氏

02 38 05 こころみの日かくつくしつれば心みかくし

つくしつればそのひ氏

02 38 05 もみちのかけやさつノしくと思へと ちみ

ちのかけやさつノしくとおまへと各もみ

02 38 05 みせたてまつらんの心にてされと見せたて

まつらんの心にて各氏されとされと各

02 38 06 せさせつる せさせつる氏

02 38 06 なときこえたまふつとめて中将の君也との

たまふ中将の君は氏

02 38 07 いかにかノ各

02 38 07 御らむしけむ 御覽じつらん氏

02 38 07 みたりこちながらこそ みたれ心ちながら

こそなときこえたまへり各 心ちながらこそ

ときこえ給へり氏

02 38 08 ものおもふにものをもひふに各 ものおも

ひに氏

02 38 08 そてうちふりし 神うちふりし氏

02 38 09 あるあり氏

02 38 09 御返 御返り氏

02 38 09 御さまかたちみ給ひしのはれす 御さまか

たち にみ給しのはれす各 御かたち見え  
しのはれ給はず氏

02 38 10 大かたには ナシ氏

02 38 11 かきりなふ かきりなく氏

02 38 11 めつらしう めつらしきにも氏

02 38 11 のかたさへ 02 42 07 みむは落丁氏

02 38 12 おもほしやれる おほしやれる各

02 38 13 ひきひろけて ひろけて各

02 38 13 みいたまへり みぬ給えり各

02 39 01 ひとひの源氏の 一しかくの日の源氏のきみ

の『大成』しかくのヲ補入トスル各

02 39 02 ゆゝしう ゆゝしく各

02 39 02 みす経など 御す行など各

02 39 02 きく人も ナシ各

02 39 04 殿上人 殿上人も各

02 39 05 さい将ふたり左衛門督右衛門督ひたりみきの

かくのこをこなふ 宰相ふたり右(左兵衛)

衛門督右衛門督左右のかくの事おこなふ傍

記、ミセケチアルカ」各

02 39 06 世に ナシ各

02 39 07 こたかき 木たかき各

02 39 07 四十人(四)十人各

02 39 08 ものゝねとも 物ゝのねとも 各

02 39 09 中より なかより各

02 39 11 おまへ 御まへ各

02 39 11 日暮かゝるほどに 日の くれかゝる程に

各

02 39 13 色々色ノノに各

02 39 13 いろいろあやの いろいろあひの各

02 39 14 このもと 木のもと各

02 40 01 山のこのは 山の木葉各

02 40 02 四のみこ 四の御子各

02 40 02 秋風楽 秋風楽各

02 40 02 まひ給へる しつかにまひ給える各

02 40 03 みもの 物み各

02 40 04 頭中将 左(右)頭(中将)各

02 40 05 かむたちめは 上達部各

02 40 08 給ひてしを 給にしを各

02 40 08 二条院には 一(二)條院に各

02 40 10 ありさまは 御ありさまは各

02 40 10 しり給はず しりたまはて各

02 40 10 おほさむは おほす覽は各

02 40 10 心うつしく 心うつしくしう各

02 40 12 すさひこと すさみこと各

02 40 13 あかぬと あかぬこと各

02 40 14 みたてまつりそめてしかは 見そめてしかは

各

02 40 14 やむことなく やんことなきかたには各

02 41 01 かるノノしからぬ かるノノしからぬ各

02 41 03 むつれまとはし むつれまはし各

02 41 04 しはししはしは各

02 41 05 になくして になくしそになくニミセケチカ」

各

02 41 05 御事ともを 御こととも各

02 41 06 給い 給各

02 41 08 つかうまつらせ給ふ つかまつらせたまふ

各

02 41 09 給はさりけり 給はず各

02 41 10 きこえ給とき きこゑを(り)給とき(各)

02 41 10 あま君を あま君も各

02 41 13 さふらひ さふらひ給各

02 41 13 おほとのおほい殿各

02 41 14 いたくいたく(う)各

02 41 14 くしなとくらしなとらニミセケチアルカ」

各

02 42 01 かくなむと かくなと各

02 42 02 おもほしける おほしける各

02 42 02 御法事 御(法)法(事)各

02 42 03 藤つほの ふちつほ各

02 42 03 御あり様も 御ありさまも各

02 42 03 ゆかしうて ゆかしうて各

02 42 03 命婦 王 命婦各

02 42 04 中納言君 中納言の君各

02 42 04 中務などやうの 中つかさやうの各

02 42 04 たいめたいめん各

02 42 04 けさやかに も けさやかに各

02 42 04 もてなし もてなし各

02 42 05 おもへとしつめて おほせと思ひしつめて

各

02 42 05 兵部卿官 兵部卿の官各

02 42 06 たいめたいめ各

02 42 07 人しれすひとしれすめとまりて氏

02 42 07 給にも 給も氏

02 42 08 むつましく むつましく各 御覽ふましく 本

卜傍記」氏

02 42 08 など ナシ氏

02 42 08 宮も此御さまのつねなりまこと御子まこと

君の御ありをまこと心けをうけて

02 42 09 御さまの御ありをまこと

02 42 09 給入るをたる世氏

02 42 09 めでたしとみだてまつりたまひてめでたき

氏

02 42 10 むごになはむごなは幸御子なごは

氏

02 42 10 おほしなごて思はらぬを氏

02 42 10 御心には御心にて氏

02 42 11 おもほすおほす各氏

02 42 11 みの内にみすの(ち)つしに各宮内入

氏

02 42 11 入給をまいり給を氏

02 42 11 うちやましくうちやましく氏

02 42 11 むかしはうへのむかしうさの氏

02 42 12 きこえたまひしをきこえなごし給を氏

02 42 12 こよなうこよなく氏

02 42 12 うとみうとめ各

02 42 13 うちうとく各氏

02 42 13 おほゆるそおほえ給も氏

02 42 13 わりなきやわりなご氏

02 42 13 しはノもしはご氏

02 42 13 さならふへけれとさならふへけれと各

氏

02 42 13 ことごと侍らぬはとはをのつからおたり侍

を「ことごと侍らぬはとはをのつからおたり侍

たり給えるを各「ことごと侍らぬはとはをのつからおたり侍

02 42 14 事などはおほせ事も侍らむ事にはおほせ

としはんらん氏

02 42 14 うれしくいとうれしく氏

02 43 01 すくノうてすくノうて各きこえた

まひて氏

02 43 02 いとノいと各氏

02 43 02 うきふしにおほしをきてうときふしにおほ

して氏

02 43 02 はつかしくはつかしく各氏

02 43 03 いとをしければナシ氏

02 43 03 するしもなくて過行するしならぬ氏

02 43 04 かたみにナシ氏

02 43 04 よを世をも各

02 43 04 みるみする氏

02 43 04 こあまつ入の「厄」せんの各けに「うさの

氏

02 43 05 おほして御をこないにものりきこえおほ

しなきてをこなひ氏

02 43 05 御するしにや御するへなりけり氏

02 43 06 おほいとのをい殿々各大将殿も氏

02 43 06 いとやむ事なくておはしますことかしこ

となくてつなならすしのひ所氏

02 43 06 おはしますおはすしノ上カラすヲ書ク

各

02 43 06 こゝかしこあまた「こゝかしこ」とあまた各

02 43 07 たまふをそ給入るそ氏

02 43 07 ほとはむつかしき事もちとおほえけるには

むつかしう思けるに氏

02 43 07 事もちと「とちと」各

02 43 07 されとかくとりわき給入る御おほえの程はこ

れとかくとりわきての御おほへ氏

02 43 08 かしナシ氏

02 43 08 御ぶく御ぶくは氏

02 43 09 三月こそはとて三月みつきこそはとて各三

月にてぬく入とあはれは氏

02 43 09 つこまりにはつこまりに各「つこまりかたに

氏

02 43 09 ぬかせたてまつり給ふをぬかせ給を各

氏

02 43 09 またおやもなくてをちなくて氏

02 43 09 なくてなく各

02 43 10 給しかは給入るか心くるに氏は

02 43 10 まはゆき色にはあらて「まはゆき」に「こ」に

はあらて各「まき」なるらて氏

02 43 10 むらさき山ぶきのちのかきり各山吹むらさきの

きの本に「さ」のかきり各山吹むらさきの

にしき氏

02 43 11 御こうちき「こうちき」各氏

02 43 11 などをナシ氏

02 43 11 いまめかしくいまめかしう各氏

02 43 12 さしのそき給入りいとつるはし「さし」のそき

て氏

02 43 12 おとなしくおとなしく氏

02 43 13 うちあみ給入るうちわらひ給に氏

02 43 13 めてたうめてたく各「け」に氏

02 43 14 みたま入る「みたま」入り氏

02 43 14 三尺ニさく氏

02 43 14 みつし御つし各氏  
 02 43 14 しつらひすへてしすゑたまへり氏  
 02 44 01 やともつくりあつめてこまなとあまたつく  
 りて氏  
 02 44 01 給入るを給へれば氏  
 02 44 02 なやらぶとてなやうらぶとふうニミセケ  
 子カ各ナシ氏  
 02 44 02 これをこほちひぬなをつちこほす氏  
 02 44 02 侍ぞ給氏  
 02 44 02 大事とたいしに氏  
 02 44 03 おほいたりおほしたり氏  
 02 44 03 けにナシ氏  
 02 44 03 侍なるかな侍かな各はへるかなとて  
 氏  
 02 44 03 つくろはせ侍らむつくろはせん氏  
 02 44 04 こといみしてものこといみして各  
 02 44 04 なゝひたまひそななけき給そ氏  
 02 44 04 けしきけしき各  
 02 44 04 所せきを所せくみえたまふ氏  
 02 44 04 はしにいてゝナシ氏  
 02 44 05 ひめ君君氏  
 02 44 05 たちいてゝ... 02 45 04 かしつき給と落丁  
 氏  
 02 44 06 まいらせまいらせ給各  
 02 44 06 すこしナシ各  
 02 44 07 かくナシ各  
 02 44 07 たてまつりナシ各  
 02 44 08 しめやかにてこそみえたてまつらせしめや  
 かにこそみえたてまつり各

02 44 09 御あそひあそひ各  
 02 44 09 心心を各  
 02 44 10 心のうちにくこころの中に各  
 02 44 10 我は我は各  
 02 44 11 みにくゝこそあれ見にくゝこそあれは  
 各  
 02 44 12 わかき人をもわかき人を各  
 02 44 12 今そいまこそ各  
 02 44 12 おもほししりけるおほししりけれ各  
 02 44 13 なめりかしなめりかし各  
 02 44 14 あやしとあやしつ各  
 02 44 14 かうかく各  
 02 45 01 うちより大殿にまかてたまへれば君は内  
 より大臣殿にまかてたまへり各  
 02 45 01 うるはしううるはしく各  
 02 45 02 心うつくときこゝろうつくとき各  
 02 45 02 すこしちとすこし各  
 02 45 03 御心みえは心みえ給は各  
 02 45 04 給しよりはたまひのちは心をかれて  
 氏  
 02 45 04 おほしさをためたる事にこそはとこゝろのみ  
 をかれてさをためたる方なるへしとおほすに  
 氏  
 02 45 04 事にこそはと事にてこそはと各  
 02 45 05 いとゝうとくはつかしくおほざるへししひ  
 てはつかしうとくのみおほされけるせめ  
 氏  
 02 45 05 はつかしくはつかしう各  
 02 45 05 しひてししめて各

02 45 05 やうにもてなしてやうにて氏  
 02 45 06 御けはひもてなし氏  
 02 45 06 えしも心つよからす心よからす氏  
 02 45 06 御いらへなどいらえ氏  
 02 45 06 うちきこえ給入るはきこえ給入るは各きこ  
 え給さまは氏  
 02 45 07 人よりはいとひとより氏  
 02 45 07 よとせはかりかこのかみにおはすねはよそ  
 はかりのこのかみなれば氏  
 02 45 07 うちすくはつかしけにさかりにとのほり  
 てみえ給さかりにとのをりて心はつかし  
 けにて氏  
 02 45 07 うちすくしつちすくし各  
 02 45 08 なに事かはなにことか各何とかは氏  
 02 45 08 あかぬ所はものし給かたはにものたまは  
 ん氏  
 02 45 09 心のナシ氏  
 02 45 09 すさひにかくすさみにかく各すまぬから  
 氏  
 02 45 09 たてまつるそかしたてまつる氏  
 02 45 10 おほししるおほししる各  
 02 45 10 なかにもおほえ中にいとおほえことに  
 氏  
 02 45 11 宮はらにひとりいつきかしつき給かはかり  
 いつきたまへる氏  
 02 45 11 いつきナシ各  
 02 45 11 御心をこり心をこり氏  
 02 45 11 をろかなるをはおろかなるを各

02 45 12 めさましとめさましきものに氏  
 02 45 12 おとこ君はなとか君などには氏  
 02 45 12 いとナシ各氏  
 02 45 12 さしもとさしもと各  
 02 45 12 ならはい給ならはひし(きこえたまふ各な  
 らはし給氏  
 02 45 13 御心の心の氏  
 02 45 13 おとこもかくわかく氏  
 02 45 13 つらしはつかし氏  
 02 45 14 おもひきこえ給ながらおほしなから氏  
 02 45 14 給時はつらみも給にはつらみを氏  
 02 46 01 きこえ給ふゑみまけ給氏  
 02 46 01 いて給ふ所にさしのそき給て御さつそくし給  
 ふにいてたまふとて御さつそくし給所にさ  
 しのそきて氏  
 02 46 01 御さつそく御しやうそく各  
 02 46 02 御をひ御てつからもたせてわたり御おもひ  
 などてつからもていて氏  
 02 46 02 うしろしり氏  
 02 46 02 なとなと各ナシ氏  
 02 46 03 とらぬとるといふ氏  
 02 46 03 し給し給も氏  
 02 46 03 これはナシ氏  
 02 46 03 ないえむ…02 47 04 なかく「錯簡」氏  
 02 46 03 ないえむ内覧氏  
 02 46 03 いふ事も侍なるをいふことも侍へかな  
 るを各へるへかめるをこれは氏  
 02 46 04 こそなとこそはと各  
 02 46 04 きこえ給入はきこえ給入と各氏

02 46 04 それはまされるも侍りそれにはまされる  
 とものも侍り各まさるともさぶら  
 はさむむめるを氏  
 02 46 04 たよめなれぬさまなれはたよにてめなれぬ  
 さまなるをひなれは氏  
 02 46 05 さよせいてさせ氏  
 02 46 05 よろつかしつきたてよみたてまつり給ふ  
 にいたしたてよまつり給心ち氏  
 02 46 06 かよらんかよる氏  
 02 46 07 みえ給さむさしにとてもみえたりさむさ  
 むに二「本」卜傍記氏  
 02 46 07 所も所に氏  
 02 46 07 内春宮一院はかり春宮大夫一院はかりに  
 氏  
 02 46 08 さてはさらては各さて氏  
 02 46 08 藤つほの三条の宮にそ藤つほの三条院に  
 氏  
 02 46 08 給へるたまへり氏  
 02 46 08 けふはまたことにもみえたまふかなねひ給ま  
 らにゆよしきまてなりまさり給ふ御有さまか  
 なとことにはまさりたまへるさまよと  
 氏  
 02 46 09 めてナシ氏  
 02 46 10 宮き丁のひまより宮は御木丁のひまより  
 各御木丁のはさまより氏  
 02 46 10 ほのみ給ふみ給氏  
 02 46 10 おもほすおほす各氏  
 02 46 10 しけかりけりおほかりけり氏  
 02 46 11 御事のしはすもすきにしか御ことをしわす

にも氏  
 02 46 11 心もとなきに心もとなきに氏  
 02 46 11 この月はこの月氏  
 02 46 11 宮人もまちきこえ内にもさる御心まつけと  
 もありつれなくてたちぬ有に此月もすきぬ  
 氏  
 02 46 11 まちきこえまちきこゆ各  
 02 46 12 御心まつけともあり御まつけともあるに  
 各  
 02 46 12 御ものよけ御ものけ各  
 02 46 12 よ人もひとよは氏  
 02 46 13 さはくをさわくに氏  
 02 46 13 この事によりナシ氏  
 02 46 13 なりぬへきなるへき氏  
 02 46 14 御心ちもいとくるしくていたく氏  
 02 46 14 くるしくてくるしうて各  
 02 46 14 なやみ給なやみ給に各  
 02 46 14 中将の君は中将氏  
 02 46 14 おもひあはせて思あはせられて氏  
 02 46 14 みすほう御す法各氏  
 02 47 01 なとナシ氏  
 02 47 01 さとはなくてわさとはなくて各  
 02 47 01 所よにナシ氏  
 02 47 01 世の中の世の氏  
 02 47 02 かくはかなくてやかくてや氏  
 02 47 02 とりあつめてなけき給ふにとりそへて思ほ  
 れ給氏  
 02 47 02 二月十日のほどに二月十日のほどに  
 各二月十日ほどに氏

紅葉賀(各・氏)

02 47 02 おとこみこをどこ御子にて各おとこ御子  
氏  
02 47 03 宮人も宮のうちの人も氏  
02 47 03 きこえ給きこゆ各きこえたまふへし  
氏  
02 47 04 もとおもほす…02 56 10 いとひさしくなり  
に落丁氏  
02 47 04 おもほすはおほすは各  
02 47 04 うけはしけにうけはしけは『大成』ガミセ  
ケチトスル八声点」各  
02 47 05 むなしくむなじう各  
02 47 05 きくなし給はましはきくなし給はましかは  
各  
02 47 05 人はらはれ人わらふはへ各  
02 47 05 おほしつよりておほしつよりて各  
02 47 05 やう／＼ナシ各  
02 47 06 さはやい給けるさわやきたまひける各  
02 47 06 おほしめしたるおほしたる各  
02 47 07 御心にも御心ちにも各  
02 47 07 うへの「源」ナカ各  
02 47 08 きこえさせきこへ各  
02 47 08 くはしくナシ各  
02 47 09 ほとなれはとて人(ほと)に(なれはとて各  
02 47 10 たかふへくもあらずまかつへくもあらず  
各  
02 47 11 くるしくくるじう各  
02 47 14 いとナシ各  
02 48 02 なとかうしもなとかようしも各

02 48 04 まほにも(まほほ)にも各  
02 48 04 ない給なきたまふ各  
02 48 05 心くるしき心くるしきや各  
02 48 07 おもほしたるおほしみたれたる各  
02 48 08 えはしたなふもはしたなくも各  
02 48 09 まとぶてふやみまよとぶてふやみ各  
02 48 11 はつらはしきをわつらはしければ各  
02 48 12 おほひたりしやうにもおほひたりしやうに  
各  
02 48 12 人めたつましく人めたつまじう各  
02 48 13 もてなし給もてなし給各  
02 48 14 はひしく思ひのほかになるわひじうおもひ  
のほかなる各  
02 48 14 おほきにをとなじう各  
02 49 01 まきれところなきまきれかたき各  
02 49 02 ならひなき(なら)ひなき各  
02 49 02 けにかよひ給へるにこそはとけにかよひ給  
ひけるにこそは(と)各  
02 49 03 おもほしけりおほしけり各  
02 49 03 おもほしかしくおほしかしく各  
02 49 04 おほしめしなからおほしなから各  
02 49 05 すゑたてまつらすえすへたてまつらす  
各  
02 49 06 御ありさまありさま各  
02 49 06 御らむするまに御らむせられるに  
各  
02 49 06 心くるしくくるじう各  
02 49 09 おもほすおほす各  
02 49 09 し給にしたまふ(に)各

02 49 09 いたきいてたてまつらせ給ていたきたてま  
つらせ給て各  
02 49 10 みこたち御こたち各  
02 49 11 みなみな各  
02 49 12 いみしくいみじう各  
02 49 13 かはる(あ)かはる各  
02 49 13 うれしくもうれじう各  
02 50 03 みたるやうなれはかきみたるやうなれは  
各  
02 50 04 おまへ御まへ各  
02 50 04 せむさいのせんさい各  
02 50 05 あをみわたれるあをみわたる各  
02 50 05 中になかに各  
02 50 06 もとに御もとへ各  
02 50 07 なてしこの花とこなつ(なてし)このはな  
各  
02 50 08 侍りければ侍りければ各  
02 50 10 おほししるゝおほししる各  
02 50 11 ほのかにほのかに各  
02 50 12 しるしる(さか)ひノ上カラしるヲ書キ、  
サラニるヲ傍記」各  
02 50 13 いみしくいみじう各  
02 50 14 ふしたるなかめふしたる各  
02 51 01 たいにそわたり給ふたいへにそわたり給  
へる各  
02 51 01 うちぶくたみうちぶくみ各  
02 51 02 ふきすさひつゝふきすさみつゝ各  
02 51 03 さまさま各  
02 51 04 わたり給はぬわたり給はぬ各

02 51-07 うつくしあなにくかゝる事くちなれ給にけり  
 な うつくしあなにくかゝることくちなれ給  
 にけりなをかし各  
 02 51-08 事そよわ(女)こと(そよ)各  
 02 51-08 たてまつりたてまつらせ各  
 02 51-08 さうのことしやうのこと各  
 02 51-09 こそ「こヲ補入、サラニこヲ傍記」  
 各  
 02 51-10 えゑしはてすえゑんしはてす各  
 02 51-11 さしやりてゆし給さしやりてゆし 給ふ  
 各  
 02 51-13 らう／＼しうさう／＼しく各  
 02 51-14 いふものはいふものは各  
 02 51-14 なは名は名ニ傍記アルカ、てカ「各  
 02 51-14 おもしろぶをもしろく各  
 02 51-14 ふきすさひふきすまし各  
 02 52-01 かきあはせかきあはせて各  
 02 52-01 わかけれとわかけれとも各  
 02 52-01 はつしひやうし各  
 02 52-01 おほとなぶらおほとのおぶら各  
 02 52-03 くし給入りくし給入り各  
 02 52-04 うつふしてうつふして各  
 02 52-04 めてたくめ(下)てたくて各  
 02 52-05 あるとおはする各  
 02 52-06 あれとさわと各  
 02 52-07 くね／＼しくくね／＼しう各  
 02 52-07 むつはしければむつかしければ各  
 02 52-08 かくもかく各

02 52-08 みなしてはほかへも見なしたてまつりては  
 各  
 02 52-08 いくまし(あり)い(く)まし各  
 02 52-13 おこしたてまつり給ひておこしきこへ給て  
 各  
 02 52-14 すさひてすさみて各  
 02 53-01 思給つればおもひきこへ給へれば各  
 02 53-01 なりともなりとも(も)各  
 02 53-01 おもむきかたくをむきかたく各  
 02 53-03 きこえければきこゆれば各  
 02 53-03 事にも(こ)にも(も)各  
 02 53-04 すらはすら(ん)む(は)各  
 02 53-06 心なけにこころなけに各  
 02 53-06 いわけていはけなく各  
 02 53-06 さぶらぶさぶ各  
 02 53-07 きこえあ入りきこへあ入りゆ各  
 02 53-07 おとの思ひなけるなるなど大殿へおほ  
 しなけるなることもけにものけなかりし程  
 をおつな／＼かく物したる心をさはかりの  
 ことたとらぬ程にはあらしをなとかなざけ  
 なくはもてなすなる各  
 02 53-09 いとおしくいとをきしう各  
 02 53-09 おほしめすおほしめさる各  
 02 53-11 なともとも各  
 02 53-11 かくれありきてかくれてありきて各  
 02 53-12 かうやうのかやうの各  
 02 53-12 かたかたは各  
 02 53-13 給はず給はてず(各)  
 02 54-01 有かたきにかたきに各

02 54-01 けにそけにそそニミセケチカ「各  
 02 54-01 あやしうあやしく各  
 02 54-02 給はさめるとたまはさめるなど各  
 02 54-02 心みにこころやす(く)みに(各)  
 02 54-03 うちいらへてうちいらへきこひて各  
 02 54-04 心はせありこころはせありて各  
 02 54-05 おほえおほえ各  
 02 54-05 心さま心さま各  
 02 54-06 かう(か)く(各)  
 02 54-06 いふかしくいふかしう各  
 02 54-07 思はさりけるおもはさりけり各  
 02 54-07 あさましとあさましう各  
 02 54-08 かゝるもかゝるを各  
 02 54-08 もりきかむももれきかむも各  
 02 54-09 いといと各  
 02 54-10 うへはうへは各  
 02 54-11 又ナシ各  
 02 54-12 なまめきて「ナキ」なまめきて各  
 02 54-12 いときよけに各  
 02 54-12 このましけに「このましう」各  
 02 54-13 ふりかたうもとふりかたうもと各  
 02 54-13 おもふらたとおもはたと各  
 02 54-14 えならすえならめ(す)各  
 02 55-01 まかはら(女)共(か)は(女)は(女)各  
 02 55-01 いたくいたう各  
 02 55-01 くらみナシ各  
 02 55-02 いみしいみしく各  
 02 55-02 はつれそゝけたりは(や)つれそゝけしりた  
 り各

紅葉賀(各・氏)

02 55-02 さまかなとさまかなと(各)  
 02 55-04 ぬりかくしたりぬりかへしたり各  
 02 55-05 ことしもあれことしもこそあれ各  
 02 55-06 心はへ(心)心は(心)ミセケチアルカ各  
 02 55-06 もりこそもりの(こそ)各  
 02 55-06 みゆめる見ゆる各  
 02 55-08 下葉なりともしたひ(は)なりとも各  
 02 55-09 こよなく(こよ)なう各  
 02 55-09 色めきたり色めいたり各  
 02 55-10 いとなく(ひ)ま(ま)つ(つ)と(なく)各  
 02 55-10 こまなつ(く)め(る)こま(な)つ(つ)と(なく)各  
 02 55-10 もりのこかくれもりの木かくれ各  
 02 55-14 みさつしよりのそかせ御しやつしよりのそ  
 各  
 02 56-02 なま(は)ゆけれとまはゆけれと各  
 02 56-02 ゆへはゆえなれは各  
 02 56-03 あなれはあむなれは各  
 02 56-04 心にて(心)ちにて各  
 02 56-06 いとことなるをことなりけるを各  
 02 56-07 御なくさめなくさめ各  
 02 56-07 みまほしきはみまほく(し)きは(心)ミセケチア  
 ルカ各  
 02 56-07 かきりありけるをかきりなきありける(を)  
 各  
 02 56-07 このみや(心)のみや(心)各  
 02 56-08 しのふれはしのふれはとノ上カラは(心)書ク  
 カ各  
 02 56-08 みつけきこえてはまつ(心)みつ(心)けき(心)入  
 てはまつ(心)各

02 56-09 なくさめむとおほせとなくさめんとはおほ  
 せと各  
 02 56-10 ひさしくなり(心) 02 57-09 めつ(心)つ(心)き(心)錯(心)簡(心)  
 氏  
 02 56-10 けるをけり氏  
 02 56-11 ありきナシ氏  
 02 56-11 給へは給に各  
 02 56-11 おかしうひきあはれにひきて氏  
 02 56-11 御前なとにてもお(心)かたの御あそひに御  
 前の御あそひなと(心)氏  
 02 56-11 御前御せん各  
 02 56-12 ましりなとしてましりなとして各ましり  
 ても氏  
 02 56-12 上手しやつす各(心)やつ(心)す(心)氏  
 02 56-13 ものつ(心)ら(心)め(心)し(心)つ(心)も(心)の(心)つ(心)ら(心)め(心)し(心)つ(心)各(心)氏  
 02 56-13 おほえけるおほゆる氏  
 02 56-13 おりからをりからなれは各をりからにて  
 氏  
 02 56-13 あはれに(を)かし(心)つ(心)氏  
 02 56-13 うりつくりになりやしなまし(心)うり(心)つ(心)くり(心)に  
 や(心)なり(心)やし(心)な(心)まし(心)氏  
 02 56-14 うたふそ(心)う(心)た(心)う(心)こ(心)そ(心)氏  
 02 56-14 すこし心つきなきかくし(心)う(心)に(心)あり(心)け(心)む(心)す(心)こ  
 し(心)心(心)つき(心)なき(心)や(心)か(心)く(心)し(心)う(心)文(心)君(心)な(心)と(心)に(心)あ  
 り(心)けん(心)各(心)心(心)つき(心)な(心)けれ(心)と(心)う(心)から(心)ん(心)し(心)の(心)ふ(心)な  
 と(心)う(心)から(心)ん(心)本(心)ト(心)傍(心)記(心)氏  
 02 57-01 とまりて(心)と(心)まり(心)て(心)各(心)氏  
 02 57-02 思ひみたれたるおもひわ(心)み(心)た(心)れた(心)る(心)各(心)世  
 を(心)思(心)み(心)た(心)れた(心)る(心)氏

02 57-02 けはひけしき氏  
 02 57-02 しのひやかにナシ氏  
 02 57-02 より給へるに(心)たち(心)より(心)給(心)を(心)氏  
 02 57-03 をしひらいて(心)を(心)し(心)ひ(心)ら(心)きて(心)各(心)氏  
 02 57-03 うちそへたるも(心)うち(心)そ(心)ひ(心)たる(心)も(心)お(心)か(心)し(心)各(心)う  
 ち(心)そ(心)へ(心)たり(心)氏  
 02 57-04 うちなけくを(心)うち(心)な(心)け(心)く(心)氏  
 02 57-05 き(心)お(心)ふ(心)ま(心)し(心)けれ(心)と(心)き(心)お(心)は(心)ね(心)と(心)氏  
 02 57-05 うとまし(心)や(心)つ(心)と(心)ま(心)し(心)や(心)各  
 02 57-05 かく(心)ま(心)て(心)は(心)と(心)か(心)く(心)ま(心)て(心)は(心)と(心)各(心)か(心)く(心)ま(心)て  
 氏  
 02 57-06 おほゆ(心)お(心)ほ(心)す(心)と(心)て(心)氏  
 02 57-08 うちす(心)き(心)な(心)ま(心)ほ(心)し(心)けれ(心)と(心)う(心)ち(心)す(心)き(心)ま(心)ほ(心)し(心)け  
 れ(心)と(心)各  
 02 57-08 あまり(心)ナ(心)シ(心)各(心)氏  
 02 57-08 はしたなく(心)や(心)と(心)思(心)ひ(心)か(心)へ(心)して(心)は(心)した(心)なく(心)や  
 は(心)と(心)い(心)と(心)を(心)し(心)くて(心)氏  
 02 57-09 たは(心)ふ(心)れ(心)こと(心)な(心)とい(心)ひ(心)か(心)は(心)して(心)た(心)は(心)ふ(心)れ(心)し  
 て(心)氏  
 02 57-09 いひ(心)か(心)は(心)して(心)い(心)ひ(心)か(心)は(心)して(心)は(心)アル(心)カ(心)各  
 02 57-09 めつ(心)ら(心)し(心)き(心)め(心)つ(心)ら(心)かな(心)る(心)氏  
 02 57-09 心(心)ち(心)そ(心)心(心)ち(心)各(心)氏  
 02 57-09 頭(心)中(心)將(心)は(心)左(心)中(心)將(心)左(心)頭(心)ノ(心)誤(心)ト(心)テ(心)ア(心)ロ(心)ウ(心)各(心)頭  
 中(心)將(心)氏  
 02 57-10 此君の(心)いた(心)う(心)ま(心)め(心)たち(心)す(心)く(心)して(心)こ(心)の(心)君(心)を(心)い  
 と(心)いた(心)う(心)ま(心)め(心)たち(心)し(心)め(心)り(心)て(心)氏  
 02 57-10 も(心)と(心)き(心)給(心)か(心)も(心)と(心)き(心)給(心)か(心)各(心)も(心)と(心)る(心)各(心)る  
 二(心)本(心)ト(心)傍(心)記(心)氏  
 02 57-10 つ(心)れ(心)な(心)くて(心)つ(心)れ(心)な(心)くて(心)各



02 57 10 うちノうちノに各  
 02 57 10 うちノのひ給かたノおほかめるをいか  
 てみあらはさむとのみ思ひわたるにこれを見  
 つけたる心ちしたひありき給ふらんくまい  
 かにみつけて氏  
 02 57 11 みあらはさむとのみ見あらはさんとのみあ  
 らはさん各  
 02 57 12 いとつれしいとゆひれよつれしくおかしと  
 思各つれしくをかしておもふ氏  
 02 57 12 をとしまこえて御心まとはしておとして  
 氏  
 02 57 13 いはむとおもひてためめきこゆ風ひやかに  
 うちふきてやふけ行ほとにすこしいはま  
 ほしくてためめてうなひやかにて氏  
 02 57 14 みゆるけしきなれはおもふほとにいと  
 氏  
 02 57 14 やをらやはらり各  
 02 57 14 いりくるに君はとけてしもね給はぬ心いり  
 くるをとけてもねられぬ各氏  
 02 58 01 思よらすおもひまよらす 各思もよらす  
 氏  
 02 58 02 すなるする氏  
 02 58 02 すりのかみにこそあらめとおほすにすりの  
 大夫とおほして氏  
 02 58 02 こそこそは各  
 02 58 02 かくかつ氏  
 02 58 03 ふるまひをふるまひ氏  
 02 58 03 みつけられん事はつかしければみえつち  
 らなむ事のくおつたにたりや氏

02 58 03 いてなむよくものふるまいはいてなんよふ  
 るまひよ二「本」卜傍記「氏  
 02 58 04 すかし給けるよすかしつらん氏  
 02 58 04 なをしはかりをとりてなをしはかりにて  
 氏  
 02 58 05 ひきたてまつるひきたて給える各ひきた  
 みたる氏  
 02 58 06 屏風のもとによりて「ほノとひやう風を  
 ころノと氏  
 02 58 06 おとるノしくをとるノしく各氏  
 02 58 07 いたくいた各氏  
 02 58 07 よしはみなよひたる女ひやはらきたる  
 氏  
 02 58 07 さきノもさきノ氏  
 02 58 07 おりノありければならひてをりもならひ  
 たりければ氏  
 02 58 08 心あはたしく心あはたしく各  
 02 58 08 いみしくいみしく各  
 02 58 08 しきこえぬるかとしきこへぬるにかと各せ  
 んとするにかと氏  
 02 58 09 わひしさにふるぶノつとわひしうてふる  
 ノと氏  
 02 58 09 いてなはやいていなんと氏  
 02 58 10 せとしけなき 02 62 11 たくひなき落丁  
 氏  
 02 58 11 しられ見しられ各  
 02 58 13 ほとノほとを各  
 02 58 14 さりもありけれさてもありぬへけれ各

02 58 14 ものいひさはけるものを思ひさはける  
 各  
 02 59 01 二十の廿よの各  
 02 59 01 御中御なか各  
 02 59 03 なめりなんめり各  
 02 59 04 いたういたく各  
 02 59 06 の給へとつとら入てのたまひけれとつと  
 へ入てきこえて各  
 02 59 07 すまふをすまふ程各  
 02 59 08 ひきしるふほと「ひきしるふに各  
 02 59 09 つむめるつむめる各  
 02 59 12 しとけなすかたにひきなされてみなしとけ  
 なきすかたにみなひきなされて各  
 02 59 12 うちおしくうちをし各  
 02 59 13 みつけられぬる事と見つけられぬること  
 を各  
 02 59 13 あさましくいとあさましく各  
 02 60 04 よせけむいそをよせけるけんいそを各  
 02 60 06 事ともや事ともや各  
 02 60 06 おこかましき事はこかましきことも  
 各  
 02 60 08 おひをおひ各  
 02 60 10 かことやおふとかことやおふと各  
 02 60 10 はなのおひをはなのおひを各  
 02 60 12 なかとかこたむ中とかこたむこたへ各  
 02 60 14 頭のきみも「頭のきみ 八左二似ル各  
 02 60 14 おほくおほく各  
 02 60 14 そつしそつして各

02 61 01 くだすひにて くだす日(日)にて 本行ノ日ハ  
 二似ル]各  
 02 61 01 うるはしく しのはしく 各  
 02 61 01 ほへえまる ほつえまる 各  
 02 61 02 こりぬらむかし こり給ぬらんかし 各  
 02 61 02 しりめしり(規め)各  
 02 61 03 世中よと世中夜よと)各  
 02 61 04 ちかたむくちかためたまふ各  
 02 61 04 そのうちともすれば そののちは各  
 02 61 05 いとくいと各  
 02 61 06 おほししるへし おほししるへし 各  
 02 61 08 みこたちたに 君たちに 各  
 02 61 11 いふはかりこそ いふはかりにこそ 各  
 02 61 12 みこはら御ははら 各  
 02 61 13 きはとトキはとと 各  
 02 61 14 あらまほしくたらいて そのし給ける 有る  
 へきかき(ら)まほしくたらひて そのし給  
 ひける 各  
 02 62 01 七月にそ 七月七日にそ「ミセケケアルカ」  
 各  
 02 62 01 きさき(后)に 各  
 02 62 02 ちかふちかく 各  
 02 62 03 御はくかたの御はくかた 各

02 62 04 みこたち御こたち 各  
 02 62 04 はく宮は(物)は(宮)各  
 02 62 07 おもほしおほし 各  
 02 62 07 けにナシ 各  
 02 62 08 なり給へるならせ給える 各  
 02 62 08 ひきこしたてまつり給かたき ひきこしたて  
 まつりかたき 各  
 02 62 09 れいのやすからす れいの人やすからす  
 各  
 02 62 09 きこえけり おもひきこえけり 各  
 02 62 09 夜のよの 各  
 02 62 10 宮ときさきと 各  
 02 62 10 中にも なかにも 各  
 02 62 10 きさいはらきさきはら 各  
 02 62 10 みこ御この 各  
 02 62 10 たまひかり たまえは(ひ)かり 各  
 02 62 11 御おほえにさへものし給へは 御おほえなれ  
 は 氏  
 02 62 11 かしつきナシ 氏  
 02 62 12 ましてナシ 氏  
 02 62 12 御心にはナシ 氏  
 02 62 12 うちもうち 氏  
 02 62 12 いとくをよひなき心ちしたまふにナシ

02 62 13 すゝろはしきまてなむそゝろはしきまてな  
 ん各すゝろはしつなん 氏  
 02 62 14 のみひとりこたれつゝひとりこたれて  
 氏  
 02 63 01 ものいとあはれなりものゝみそあはれ也け  
 る 氏  
 02 63 01 みこは御こは各御子 氏  
 02 63 01 およすけ給 およすけたまふ 各  
 02 63 01 月日にしたかひてにそへて 氏  
 02 63 01 いとみたてまつりわきかたけ見たてまつり  
 わきかたけ 各たかへかたけ 氏  
 02 63 02 思ひよる人なきなめりかし おもひかくへき  
 人もなきなるへし 氏  
 02 63 02 なめりかし なんめりかし 各  
 02 63 03 つくりかへてかは つくりかえてかは 各つ  
 くりかたへてかは 氏  
 02 63 03 御ありさまはよにひかり 氏  
 02 63 03 ものし給はましものし給はまよと各をは  
 しまましと 氏  
 02 63 04 かよひたる かよひたるか 氏  
 02 63 04 やうにそ世人もおもへるやうによそぬ(入)  
 もおもえり各やうにてそおほえける 氏